

若者の社会参画活動の促進支援

- 若者が地域課題の解決に向けて主体的に行う社会参画活動を支援

【提案・要望先】 こども家庭庁、文部科学省

1. 提案・要望内容

社会課題の解決に向けた主体的な地域活動の支援

- 若者の主体的な地域活動を後押しするための財政的支援

2. 提案・要望の理由

- 本県では、地域での青少年活動などにおいて、多くの熱心な若者が育ち、地域のリーダーとしての活躍につながってきているものの、財政的課題等により、近年、若者のニーズに反して地域課題の解決に向けた諸活動の減少が課題となっている。
- また、本県では、本年度より「子ども若者部」を新部として設置し、子どもから若者、子育て世代まで切れ目ない支援を一層進めており、特に社会活動を行う若者への支援を強化する方針。
- 国においても「こどもまんなか社会」の実現に向けた施策が強力に推進されているが、若者に対する施策が少なく、ライフステージを通じた切れ目のない施策を講ずる観点から、いわゆる若者世代に対する支援の施策を拡充し、国と地方が連携した取組を進めることが必要。
- 一部の地域においては若者たちが地域課題に対して自らが考え、地域活動を通じて解決を図り、あるいは他の若者団体等と共催し活動を盛り上げるなどの活動が行われているが、同じ志を持つものつながりが少なく、行動の足掛かりが分からないことが課題。そのため、本県では、若者たちの交流の場を提供し、若者たちが行う活動の環境整備を促進。
- 若者の健やかな成長、社会性や自己肯定感の形成に必要な機会を充実させるため、若者たちが主体的に取り組む地域活動や社会参画活動を財政支援するとともに、これらの活動の拡大に向けた全国的な機運を醸成するためには、国の支援が必要。

(本県の取組状況)

本県においては、琵琶湖をはじめとする自然環境や文化などを活用し、特に義務教育までの体験活動について様々な取組を行っているが、若者同士のつながりが少ないことや財政的な課題により、若者世代の主体的な地域活動や社会参画活動が減少しており、これに対する施策の在り方は十分でない。引き続き効果的な支援について検討したいと考えているところ。

若者ネットワークキャンプ事業

○目的

県内の若者を対象とし、リーダーシップと社会参加のスキルを向上させるとともに、若者同士がつながりネットワークを構築し、新たな取組にチャレンジする環境を整える。

○内容

- ・若者の意見交換会「しが若者ミーティング」の開催
- ・若者の同世代のつながりを創出するため「ネットワークキャンプ」を開催し、リーダーシップ、コミュニケーション、問題解決スキルを学ぶ。
- ・キャンプ参加者により「若者リーダーシップ実行委員会」を立ち上げ、地域の子ども達を対象としたイベントを企画する。

○対象

県内高校生、大学生、勤労青年等（20名程度）



地域における主体的な地域活動や社会課題の解決に向けた活動例

○ 日野町連合青年会の活動

地域課題の解決に向け、主体的に地域の活動を行うとともに、町外の青年団と交流し青少年活動を盛り上げるなど、精力的に活動されている。

サンタが日野にやってきた
(主催)



町民駅伝大会 (主催)



若者団地との共催事業



全国まちづくりサミットに参加



担当：子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課 総務・青少年係
TEL：077-528-3561